

I. 広東省

1 反腐敗にかかる処分

●省紀律検査委員会・監察委員会は林広華・汕頭市副市長を重大な規律違反の疑いで調査中であると伝えた（8日付「南方日報」10面）。

※林副市長は1968年生まれ、49歳。1991年1月共産党加入。2017年1月から汕頭市副市長。

2 広西チワン族自治区党・政府代表団が広東省を訪問し視察・交流

●6日～8日、鹿心社・区党書記率いる広西チワン族自治区党・政府代表団が広東省を訪問し視察・交流を行った。李希・広東省書記、馬興瑞・広東省長、陳武・広西自治区政府主席、王栄・広東省政協主席、藍天立・広西自治区政協主席が関連活動に参加した。7日午前、両省区の代表が広州で広東・広西協力交流及び脱貧困協力第三回合同会議を開催し、広東と広西の交流・協力と脱貧困にかかる協力を一層深めることについて協議し、「2018年広東省・広西チワン族自治区貧困支援協力重点活動の備忘録」に署名した。広西代表団は、広州の中心市街地、琶州インターネット・イノベーション集積地、前海深水港現代サービス業協力エリアやファーウェイ、テンセント、BYD、塩田港を視察し、都市建設産業発展、科学技術イノベーションといった状況を詳細に理解するとともに、蓮花山公園で鄧小平の銅像を参拝した。任学鋒・広州市書記、王偉中・深セン市書記、江凌・広東省党統一戦線部長、王衍詩・広東省人代副主任、許瑞生・広東省副省長、黄寧生・同副省長、葉貞琴・同副省長、温国輝・広州市長、陳桂如・深セン市長、孫大偉・広西自治区党副書記、秦如培・広西自治区政府常務副主席、王小東・南寧市書記、王可・広西自治区党組織部長、王躍飛・広西自治区人代副主任、趙樂秦・同副主任、李彬・広西自治区政府副主席、方春明・同主席、丁向群・同副主席、彭曉春・広西自治区政協副主席等も関連活動に参加した（9日付「南方日報」1面）。

3 華南理工大学広州国際キャンパス・ハイエンド人材座談会が開催

●8日、華南理工大学広州国際キャンパス・ハイエンド人材座談会が広州市で開催され、李希・省党書記が国内外のハイエンド人材が来ることを非常に歓迎すると述べた。会議には杜占元・教育部副部長、任学鋒・広州市書記、江凌・省党秘書長、黄寧生・副省長、温国輝・広州市長も出席した（9日付「南方日報」1面）。

※華南理工大学国際キャンパスが2019年9月に正式に開校する予定（9日付「南方日報」9面）で、9日午前、同キャンパスの建設が番禺区で始まった（10日付「南方日報」1面）。

4 広東、広西、海南が協定に署名し、北部湾の都市群の発展を推進

●広東、広西、海南三省・区は海口市で「2018～2019年に『北部湾都市群発展計画』実施を推奨するための協力重点」協定に署名した。鹿心社・広西自治区書記、劉賜貴・海南省書記、馬興瑞・広東省長、陳武・広西自治区政府主席、瀋晓明・海南省長が立ち会った（10日付「南方日報」1面）。

5 南方電網会社が去年販売した電力量は8,902億キロワット時

●10日、南方電網会社が深センで発表したところによれば、2017年に南方電網会社が販売した電力量は8,902億キロワット時で前年同期比7.3%増加した（12日付「南方日報」10面）。

※中国全体の2017年の総発電量は約6兆5000億キロワット時で前年同期比5.9%増（国家統計局）。

II. 広州市

1 広州市の飲食店の従業員の平均給与額は6,377円で全国3位

●「2018年1～4月全国重点都市飲食業雇用分析」によれば、広州市の飲食店従業員の平均給与額は6,377円で、北京、南京について全国3位だった（7日付「広州日報」15面）。

※3位以下は、上海、深セン、杭州、合肥、蘇州、西安、武漢と続いた。

※食器洗い担当や、料理を運ぶ従業員など月給が3,500円程度であっても食事・住居といった待遇が付いていることもある。

2 反腐敗にかかる処分

●9日、広州市紀律検査委員会・監察委員会は2018年第1四半期広州市紀律検査監察審査・調査状況について公表した。第1四半期に処分を受けた広州市の局長級幹部は15名、県・所長級幹部は36名だった（10日付「広州日報」6面）。

●広東省人民検察院によれば、吳昇生・広東省地方税務局元局長は賄賂を受け取った疑いで逮捕が決定された（10日付「広州日報」6面）。

3 広州市でタクシー料金の変更

●15日から広州市のタクシー料金に変更となり、新料金規定の有効期間は5年とされている。

※変更後の料金は、初乗り料金として3キロ以内が12元、3キロを超えた後は1キロごとに2.6元、23時～5時までは30%増となる（10日付「広州日報」5面）。

4 広州白雲空港第2ターミナルでスマート搭乗サービスを開始

●南方航空によれば、5月19日から広州白雲空港第2ターミナルで南方航空国内便の搭乗

客は搭乗手続き、座席選択、荷物の預け入れ、安全検査に至るまで搭乗手続きのスマート化サービスを受けることが可能となる。白雲空港第2ターミナルには120台のセルフ式搭乗手続き機と52台のセルフ式荷物預け機が設置されている（12日付「広州日報」封2面）。

Ⅲ. 深セン市

1 王偉中・市書記が清華大学学長一行と会見

●6日午後、王偉中・書記が邱勇・清華大学学長一行と会見し、協力して学校を作ることや、研究機関設立プロセスを速めることなどについて話し合った。会見には高自民・副市长、尤政・清華大学副学長も参加した（7日付「深セン特区報」3面）。

2 清華大学深セン国際大学院第一期プロジェクトが開始

●7日午前、清華大学深セン国際大学院および清華大学・バークレー深セン学院区が深セン大学城で植樹・定礎式を行った。陳如桂・深セン市長、邱勇・清華大学長、クリスト・カリフォルニア大学バークレー校長がその後テレビ会議方式で開かれた清華・バークレー深セン学院合同管理委員会第3回会議に参加した。清華大学・バークレー深セン学院（TBSI）は、清華大学とカリフォルニア大学バークレー校が深セン市政府の支持を得て共同で建設するもの。清華大学深セン国際大学院第一期プロジェクトは深セン大学城体育館の近くにあり、2021年に使用開始予定（8日付「深セン特区報」1面）。

3 第14回中国（深セン）国際文化産業博覧・交易会（文博会）が開幕

●10日、標記博覧会が14日までの予定で開幕した。同博覧会は文化部（現在は文化観光部）、国家ラジオ映画・テレビ総局（現在は国家ラジオ・テレビ総局）、新聞出版総署（現在は党中央宣伝部に吸収されている）、広東省、深セン市の共催で第1回が2004年11月に開かれたのを除き、第2回となった2006年から毎年5月深センで開かれてきている。途中、商務部と中国国際貿易促進委員会も共催に加わっている（10日付「深セン特区報」1面）。

4 南方航空が7月から深セン—シンガポールの直行便を就航

●7月13日から深セン—シンガポールの直行便を就航する。期間は10月27日までで、毎日1往復就航する（10日付「深セン特区報」12面）。

※シンガポール行き（CZ8499）は深セン22時10分発、シンガポールへは翌日2時10分着。深セン行き（CZ8500）はシンガポールを3時20分発、深セン6時55分着。

Ⅳ. 福建省

1 于偉国・省党書記がモルディブ観光大臣と会見

● 8日、于偉国・書記はジャミール・モルディブ観光大臣と会見した。会見でジャミール大臣は福建省からの観光客に来てもらえるよう便利さや良いサービスを提供していきたいと述べた。会見には梁建勇・副省長、黄琪玉・省副書記も参加した（9日付「福建日報」1面）。

2 于偉国・書記がマッカラム在中国カナダ大使と会見

● 8日、于偉国・書記は福州市でマッカラム・カナダ大使一行と会見した。マッカラム大使は福建省の経済・社会の発展が得た成果に喜び申し上げるとともに、彼とその夫人の物語が、カナダと福建省の密接なつながりと深い絆を生き生きと示していると述べた。鄭新聡副省長が会見に同席した（10日付「福建日報」1面）。

V. 広西チワン族自治区

1 2017年の自家用車の保有台数が500万台を突破

●自治区統計局によれば、2017年の自家用車保有台数が504.33万台となり、前年同期比で18%増加した（8日付「広西日報」4面）。

※自治区全体の運転免許所有者数は977.94万人。

VI. 海南省

1 入国ビザ免除後の旅行客は25%増

● 6日、16時の時点でのビザ免除59ヶ国から入国した観光客数は前年同期比で25%増加し、のべ5,358人だった（7日付「海南日報」1面）。

※のべ5,358人中、主な国籍は、ロシア人のべ3,070人、韓国人のべ1,346人、インドネシア人のべ426人、カザフスタン人のべ381人、マレーシアのべ86人。日本はのべ2人だった。